

NJR-P01UFW-TR/NJR-P01UCW-TR 設置ガイド

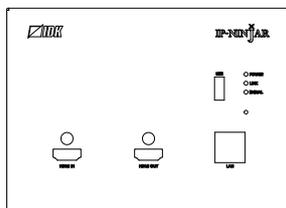


はじめに同梱の「安全上のご注意」をお読みください。本ガイドでは、同梱物の確認、背面図、設置時の注意点、および接続ケーブルの準備について説明しています。設置する前にお読みください。

1 同梱物 (本体除く)



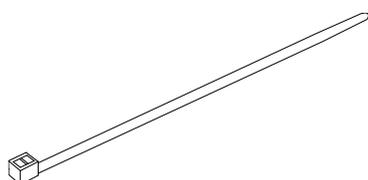
安全上のご注意 × 1
設置ガイド (本書) × 1



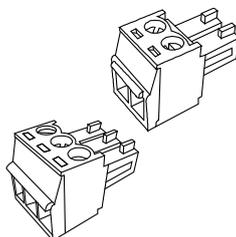
パネルカバー × 1



皿ネジ × 4



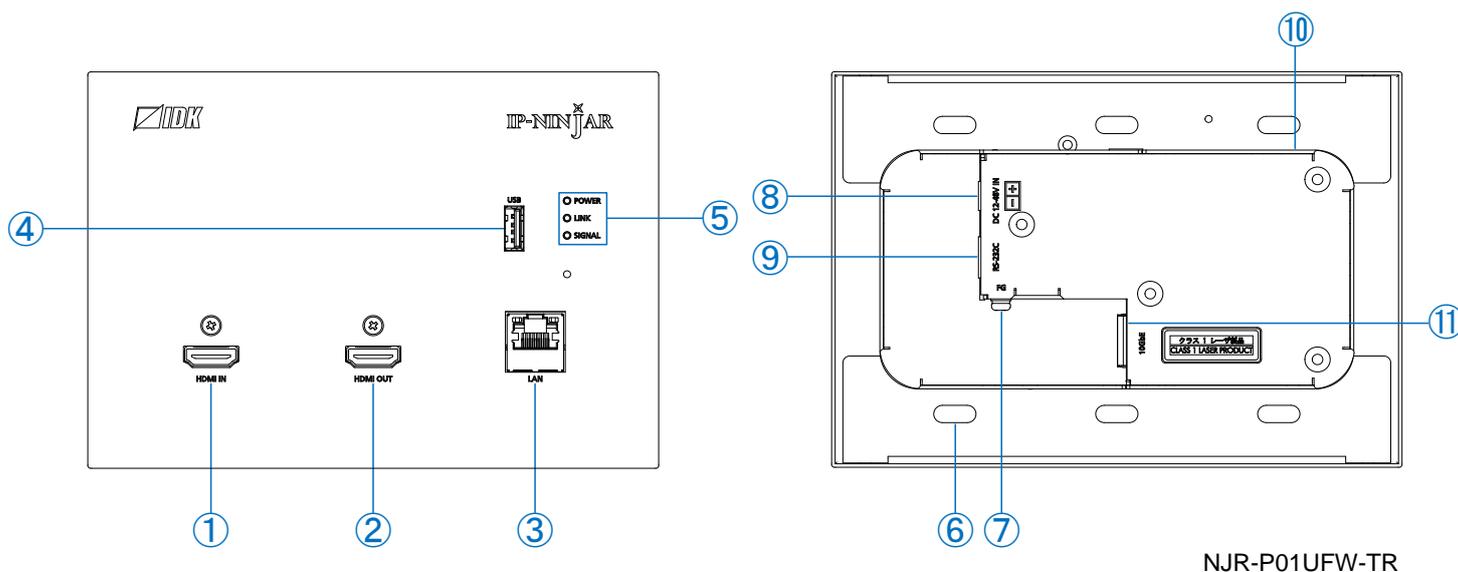
結束バンド × 1
(CAT モデルのみ)



ターミナルブロック (2 ピン) × 1
ターミナルブロック (3 ピン) × 1
本体に実装して出荷

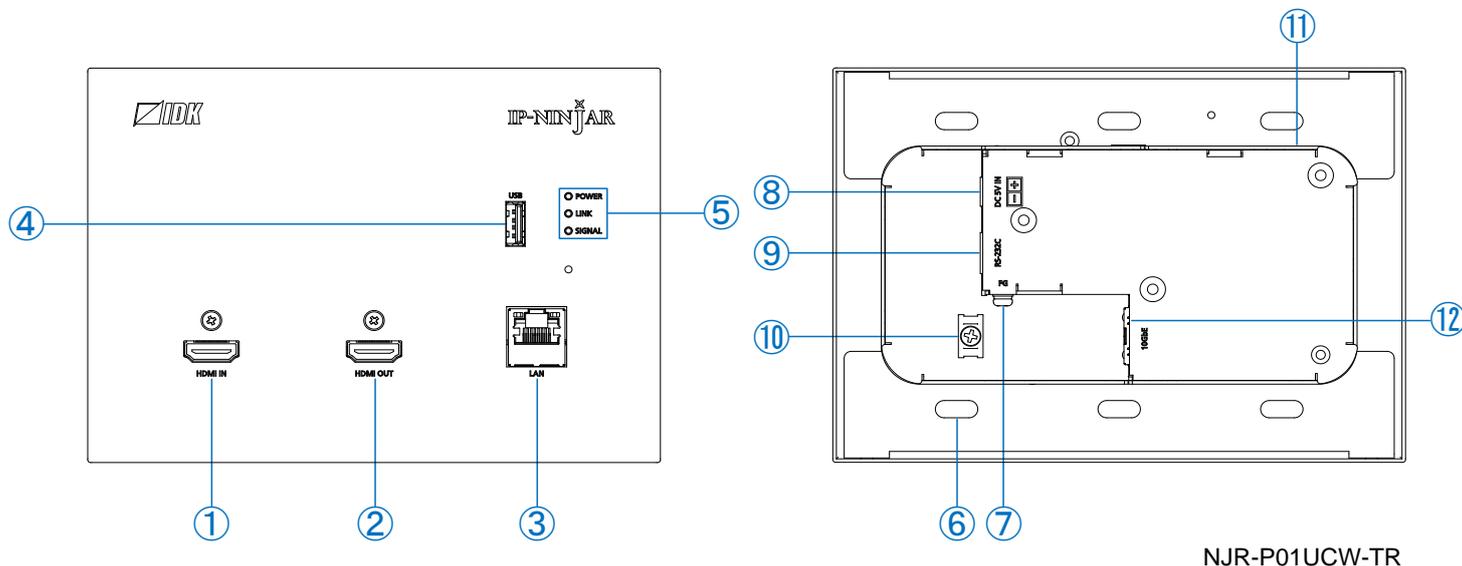
2 前面/背面図

■ 光ファイバーモデル



NJR-P01UFW-TR

①	HDMI 入力	⑤	ステータスランプ	⑨	RS-232C
②	HDMI 出力	⑥	ねじ穴	⑩	DIP スイッチ
③	LAN	⑦	フレームグラウンド (M3 ねじ)	⑪	10GbE
④	USB	⑧	DC 入力		

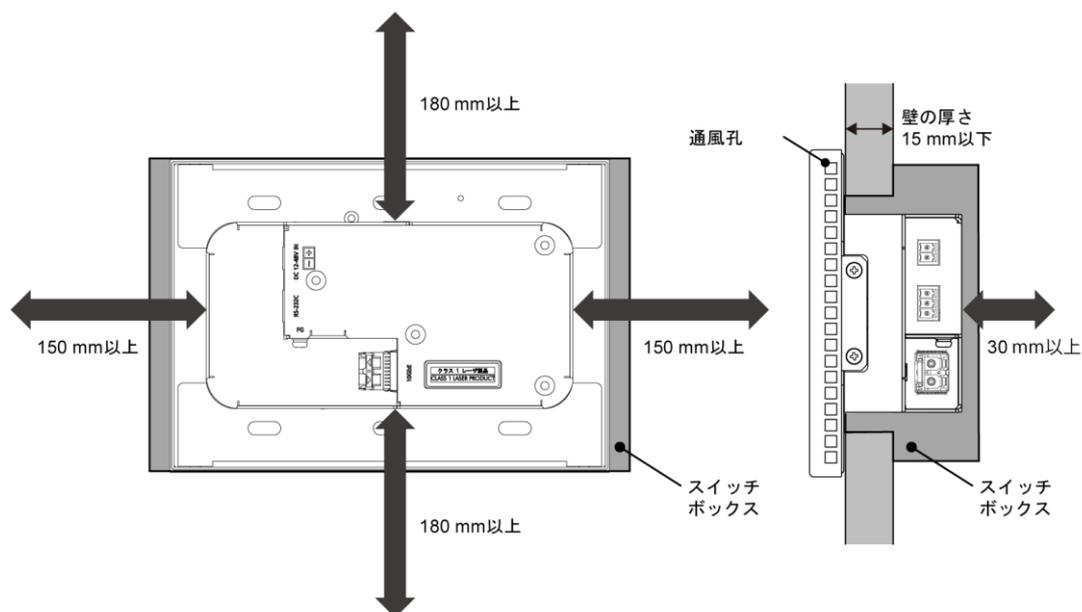


NJR-P01UCW-TR

①	HDMI 入力	⑤	ステータスランプ	⑨	RS-232C
②	HDMI 出力	⑥	ねじ穴	⑩	ツイストペアケーブル固定部
③	LAN	⑦	フレームグラウンド (M3 ねじ)	⑪	DIP スイッチ
④	USB	⑧	DC 入力	⑫	10GbE

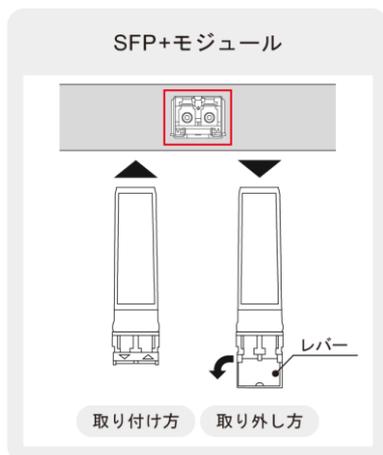
3 設置時の注意点

- ・ 本機の FG(フレームグラウンド)端子を屋内のアース端子に接続してください。
- ・ 本体内部の温度が上昇し、部品の寿命や本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあるため、以下の点にご注意ください。
 - 本体の開口穴は通風孔です。通風孔はふさがらないでください。
 - 通風孔の周囲 30 mm 以上の空間を確保してください。
 - 使用温度範囲は、0°C ~ +40°C です。
 - 断熱材などで密閉された場所に設置するときは、図のような放熱空間を確保してください。放熱空間の本体周囲(青色で示した部分)は、使用温度範囲内でご使用ください。



- ・ 壁内に設置する場合は、壁厚は 15 mm 以下にしてください。
- ・ PoE(Power over Ethernet)受電に対応しています。受電するときは、PoE 給電機能に対応した機器をご使用ください。また、給電で使用するツイストペアケーブルは、AWG 24 より太いケーブルをご使用ください。
- ・ PoE 受電と DC 入力の併用はできません。PoE 受電を使用するときは、DC 入力を接続しないでください。
- ・ 本機の電源は、すべてのケーブルを接続した後に投入してください。

- ・ SFP+モジュールの向きは、取り付ける製品のコネクタに合わせてください。
- ・ SFP+モジュールは、レバーを閉じた状態で、カチッと音がするまでコネクタに差し込んでください。差し込んだ状態でレバー操作を行うと、ロックが外れることがあります。ロックが外れた状態で使用すると、接触不良により正しく映像信号が伝送できない場合があります。
- ・ SFP+モジュールを取り外すときは、レバーを手前に開き、レバーを持ってコネクタから SFP+モジュールを手前に引き抜いてください。



- ・ 製品を輸送するときは、製品から SFP+モジュールを取り外してください。取り外した SFP+モジュールは、防塵キャップを必ず差し込み、静電気防止の袋に入れ、強い衝撃を与えないよう緩衝材で保護してください。

4 接続ケーブルについて

- ・ ケーブルを接続する前に、身体の帯電を除去してから作業をしてください。
- ・ すべての機器の電源を遮断した状態で接続してください。
- ・ コネクタおよびケーブルにストレスを与えないように敷設してください。
- ・ コネクタ破損防止のため、ツイストペアケーブルはケーブル固定部に結束バンドで固定してください。

LAN ケーブル

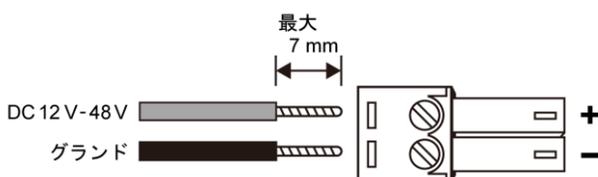
ストレートケーブルまたはクロスケーブルを使用できます。

ターミナルブロック

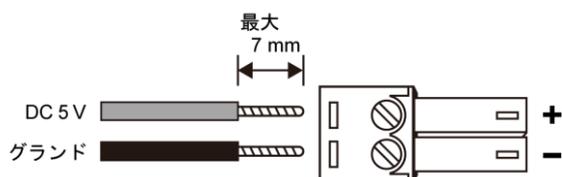
- ・ 推奨ケーブル : AWG 28 ~ AWG 26
- ・ 最大剥き線長さ : 7 mm

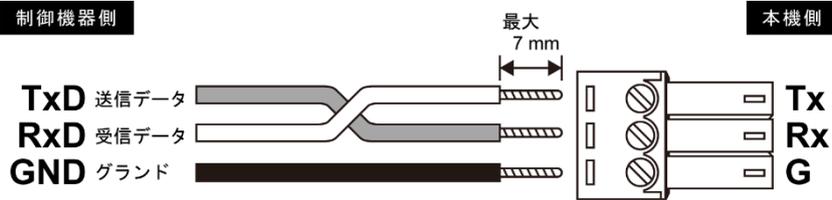
電源入力用ターミナルブロック

■ 光ファイバーモデル



■ CAT モデル





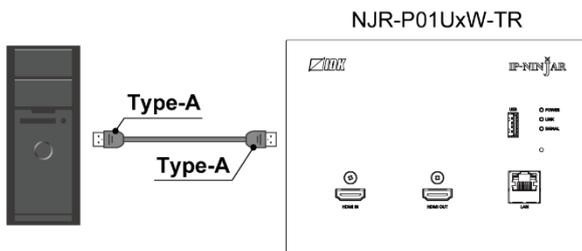
必要に応じて、制御機器側の RTS と CTS、DTR と DSR をショートしてください。

10GbE 用ツイストペアケーブルの注意点

- 安定した映像伝送性能を発揮させるために、以下の点にご注意ください。
 - コネクタまでシールドされている STP ケーブルを使用してください。
 - 本機の FG(フレームグラウンド)端子を屋内のアース端子に接続してください。
 - 接続機器の FG(フレームグラウンド)端子を屋内のアース端子に接続してください。
- コネクタのピン配列は、T568A または T568B のストレート結線にしてください。
- ツイストペアケーブルを強く引っ張らないでください。
- ツイストペアケーブルの曲げ半径は、ケーブル外径の 4 倍以上にしてください。
- ツイストペアケーブルを固定する場合の結束は、結束バンド内でケーブルが緩く動く程度とし、強く締め付けしないでください。
- 複数のツイストペアケーブルを並列に敷設する場合、ケーブル間の距離をあけて、ケーブル同士が平行にならないように、ケーブルを蛇行させて敷設してください。
- ツイストペアケーブルは、輪にして巻いた状態にすると、外来ノイズの干渉を受けやすくなります。
- CAT6A(10GBase-T)対応のケーブルジョイントを 2 か所まで使用できますが、最大延長距離が約 10%短くなる場合があります。

USB 接続について

- ローカルとして使用する場合、本機の USB コネクタとパソコンの USB ポートを Type-A - Type-A ケーブルで接続してください。
- リモートとして使用する場合、USB HID クラスに対応したキーボードやマウスを接続してください。USB ハブを使用することで、最大 2 台のデバイスをサポートすることができます。



- HID クラス以外の USB 対応機器(ゲーミングマウス/キーボードなど)は、接続できません。
- USB HID のキーボードやマウスは、消費電流 100 mA 未満の機器をご使用ください。

